

2022年4月1日
日本銀行北九州支店

北九州・京築地区の金融経済概況

(2022年4月1日)

(本件に関するお問い合わせ先)

日本銀行北九州支店 Tel 093-541-9112

当資料は当店ホームページにも掲載しています。

(<https://www3.boj.or.jp/kitakyushu/data/gaikyo.html>)



1. 総論

北九州・京築地区の経済は、緩やかに持ち直している。3月短観（全産業）をみると、企業の業況判断は小幅に悪化した。

最終需要の動向をみると、公共投資は、増勢が一服している。輸出は、横ばい圏内で推移している。設備投資は、高めの水準にある。個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に弱い動きがみられるものの、基調としては緩やかに持ち直している。住宅投資は、持ち直している。

こうした中で、生産は、供給制約の影響が和らぐもとの、緩やかに持ち直している。雇用情勢をみると、労働需給は、持ち直しの動きがみられている。

【前回との比較】

項目	前回	今回	
景気判断	緩やかに持ち直している。	緩やかに持ち直している。	
需要項目	公共投資	緩やかに増加している。	増勢が一服している。
	輸出	横ばい圏内で推移している。	横ばい圏内で推移している。
	設備投資	増加基調にある。	高めの水準にある。
	個人消費	新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響により、一部に弱い動きがみられるものの、基調としては緩やかに持ち直している。	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に弱い動きがみられるものの、基調としては緩やかに持ち直している。
	住宅投資	持ち直している。	持ち直している。
生産	供給制約の影響が和らぐもとの、緩やかに持ち直している。	供給制約の影響が和らぐもとの、緩やかに持ち直している。	
雇用	労働需給は、持ち直しの動きがみられている。	労働需給は、持ち直しの動きがみられている。	

2. 需要項目別動向

公共投資は、増勢が一服している。

輸出は、横ばい圏内で推移している。

設備投資は、高めの水準にある。

3月短観における2021年度の設備投資は、前年度を大幅に上回る見込み。2022年度の設備投資計画は2021年度を下回るものの、業績回復に伴う前向きな設備投資の拡がりから、例年と比べて高めの水準となっている。

個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に弱い動きがみられるものの、基調としては緩やかに持ち直している。

食料品や日用品等の販売は引き続き堅調に推移しているほか、人出が徐々に回復するもとの、飲食業や旅行・観光関連業種も持ち直し方向にある。

一方、乗用車販売では供給制約による自動車減産の影響が続いている。

住宅投資は、持ち直している。

3. 生産

生産は、供給制約の影響が和らぐもとの、緩やかに持ち直している。

▽業種別生産動向

鉄鋼	高炉	高めの水準となっている。
	電炉	増加している。
化学		高水準で推移している。
セメント		横ばい圏内で推移している。
住設機器		緩やかに増加している。
電気機械		一部に供給制約の影響を受けつつも、高水準で推移している。
電子部品		増加している。
自動車		緩やかな持ち直し方向にあるものの、供給制約が重石となっている。

4. 雇用

雇用情勢をみると、労働需給は、持ち直しの動きがみられている。

5. 物価

消費者物価（除く生鮮食品、北九州市）は、1%程度となっている。

6. 企業倒産

企業倒産をみると、落ち着いた動きとなっている。

7. 金融情勢

実質預金残高、貸出金残高は、前年を上回って推移している。

以 上